

東小学校だより

NO. 14 (272号)

殺丘

令和6年12月11日

東小学校

文責：加藤 正一

今年度、東小では、『子どもたちがこれからの社会を生き抜く力の育成』に向けて、よりよい授業づくりを研修しています。子どもたちの学力向上への取組です。
今回は、村内や郡内、県内の先生方に公開した授業について、ご紹介します。

2年生 図工 ～東小指導主事訪問B～

10月21日

『つないでつるして』という、お題の授業です。今回の素材は“紙”、紙の帯をつないでみると…あれ「〇〇に見える」「△△にできそう」と子どもたちは、それぞれに何かに気付きます。さらに、つなぐと「もっと長くしよう」「ここからここへつなげちゃおう」と思いが浮かんで、さらに膨らんでいきます。しかも、図工室中に自由につなげていっていいのです。子どもたちは「えーい、やっちゃえ。」と、汗をかきながら発想をひろげて、造形していました。

【授業者：林 裕矢】

※子どもたちは、発想豊かです。図画工作科では、こうした“造形遊び”を大切にしています。
子どもたちの将来の“0から1を生み出す力”につながっていきます。



4年生 体育 ～県体育研究会 他～ 10月22日・29日

『幅跳び』の授業です。より遠くへ跳べるように、今回は、それぞれの子どもが“跳び方を良くするコツや試す順番・よりよく跳ぶ練習ができる場所”を自分で決めました。子どもたちは、「ここをよくしたい」「〇〇の動きに気を付けたい」と心に決めて試します。毎回、どうしたらよいかまず考えて、何度も試してみました。近くのお友だちからの声かけやタブレット録画で、上手くいっているか確認しながら、さらに繰り返し、繰り返し試していました。



【授業者：小野里 将希】

※子どもたちは、試さずにいられない気持ちになると凄いです。繰り返し繰り返し何度でもやります。そして、“「あ、できた」の瞬間”につながっていきます。

6年生 英語 ～昭和村教育研究会～

11月18日

『Where is it from? (これってどこから?)』の授業です。今回、6年生の子どもたちは、スーパーマーケット見学で色々な商品が外国からきていることに驚いている3年生の子どもたちに、身の回りのものがどこの国から来ているかを、英語で教えてあげることになりました。とにかく“わかりやすく伝えなければ”と責任感・使命感が凄いです。しっかり発音、身振り手振り、さらにその国等の説明も加えて…お互いにアドバイスしあいながら、次回の本番に向けて練習しました。



【授業者：藤野 瑞希】

※子どもたちは、任されると本気度が違います。この相手意識を大切にした経験は、“交渉力・折衝力”を含めた将来のコミュニケーション力につながっていきます。

5年生 理科 ～昭和村教育研究会～

11月18日

『ふりこのきまり』のはじまりの授業です。今回、子どもたちは、一人一つの“ふりこ”を手にとって、感じ・考え、そのきまりを探ります。やがて、子どもたちは、「おもりをかえると?」「ひもが〇〇だと?」「ここから振ると?」と、試しながら、ふれる速さや幅に気付きます。途中で校歌が流れています。校歌の曲に「え、あわせられるの」と、疑問がわいてきます。調べたくなってしまう。次の時間から、この不思議を解決していくことを確認しました。

【授業者：林 杏佳音】

※子どもたちは、“「?」をはじまり”として、問題を解決していきます。こうした授業を通して、“社会で生きて働く問題解決力”の基を育んでいきます。

